IoTBank

次世代介護機器
リットケアベッドセンサーのご案内

LitCare

株式会社オークネット

©2025 IoTBank Co., Ltd.

リットケアとは

IoTBank

介護業界の**生産性**と**質**の向上を図る次世代介護機器の総称

リットケア **バンド**

補助金対象
（介護テクノロジー等）

TAIS : 02241 - 000001
介護テクノロジー　見守り･コミュニケーション(施設)

- **入居者のバイタルの測定･自動記録**
  ～心拍･体表温･血中酸素濃度ウェルネス･血圧推定値等～
- **バイタル計測作業の効率化**
  ～バイタルモニタリングによる健康管理～

リットケア **ベッドセンサー**

- **入居者の離床の測定･自動記録**
  ～心拍･呼吸･離床～
- **夜間の見守り負担の軽減**
  ～転倒/転落時の速やかな検知～

リットケアベッドセンサーとは

IoTBank

高齢者施設向け
利用者の 離床/在床 状態を可視化するサービス

PC/タブレット/スマホ

主なサービス・機能

- **見回り回数の低減**
  PCで一括管理することで夜間見回り対応者を削減
- **転倒検知**
  離床在床を速やかに検知し、転倒事故も素早く対応可能
- **行動パターンの把握**
  夜間等の離床パターン把握で事故予防に寄与
- **生産性向上推進体制加算に対応**
  追加の介護加算に貢献

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

複数台のベッドの離床在床を一元管理

フロア

介護居室

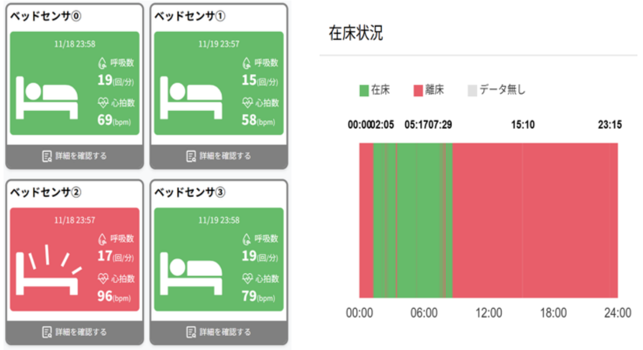
在床中　離床中

毎日の離床/在床を自動記録

Wi-Fi
2.4/5GHz

管理者事務所

遠隔モニタリング・データ管理



利用者ごとに離床/在床マークで確認可能

※ 本製品は医療機器ではありません。そのため、医療行為に関する判断を本サービスに委ねるような利用はできません。

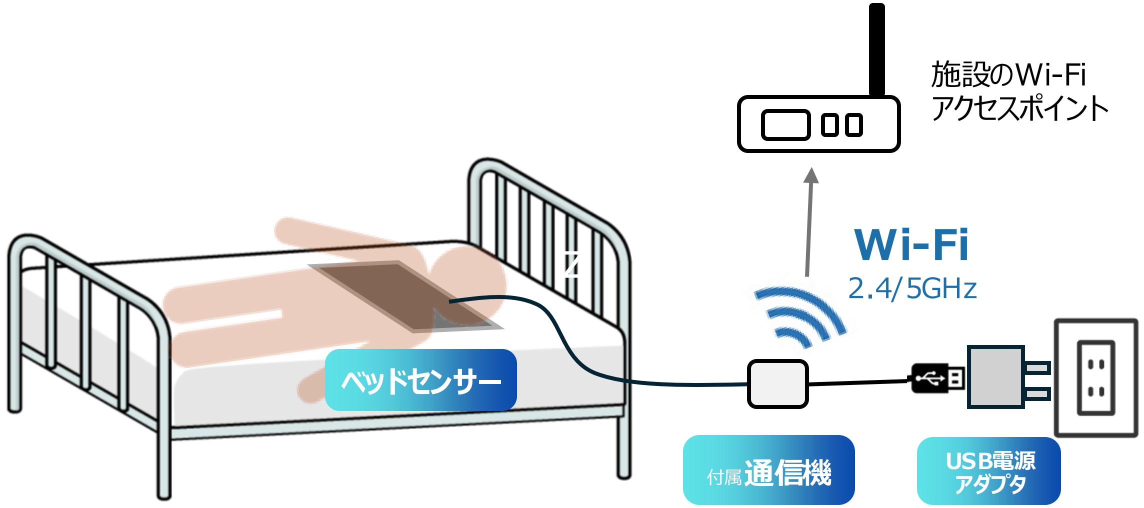
Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

ベッドセンサー設置概要

IoTBank

ベッドに置くだけ、ご利用者の負担無くご利用が可能

ベッドセンサー設置概念図



ベッドセンサー配置イメージ

ベッドセンサーはマットレスの上に設置

※ 本製品は医療機器ではありません。そのため、医療行為に関する判断を本サービスに委ねるような利用はできません。

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

リットケアベッドセンサー製品仕様

IoTBank

項目		仕様
ベッドセンサーサイズ		300 x 750 x 3mm
ベッドセンサー重量		220g
材質		センサー部：ポリエステル 通信機器部：ABS樹脂
通信方式		Wi-Fi通信(2.4GHz/5GHz)
電源		USB Type-A（5W）
計測項目 （更新間隔）		**・離床/在床状態（1秒毎）** **・心拍数/呼吸数（15秒毎）** データ取得から約3秒程度※で管理画面に反映 ※ご利用の通信環境により反映速度は異なります
取得データ	**離床/在床**	高感度の圧電/圧力センサーで離床/在床を検知します。
	心拍数	1分当たりの心拍数（bpm）を計測します。
	呼吸数	1分当たりの呼吸数（回）を計測します。

※ 本製品は医療機器ではありません。そのため、医療行為に関する判断を本サービスに委ねるような利用はできません。

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

リットケアベッドセンサー他社比較

IoTBank

リットケアベッドセンサーは離床/心拍/呼吸に特化しリーズナブルに

睡眠状態のデータご希望の場合は他社がおすすめ

	リットケアベッドセンサー	PB社/BS社	NJ社/ENS社	マットセンサー
心拍数/呼吸数	◎	◎	◎	×
離床動作	◎	◎	◎	◎
睡眠状態/覚醒	×	◎	◎	×
データ保存	◎	△	◎	×
コスト	◎	×	△	◎
	低	高	中	低

※本比較表は弊社調査結果となり、正確性を担保するものではありません。詳細は各メーカーにお問い合わせください。

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

定量効果イメージ例

IoTBank

利用者50名の施設の場合

導入前

夜勤巡視時間
140時間/月

【巡視条件】
・夜勤スタッフ3名体制（うち2名が巡視）
・2時間ごとに全室巡視×4回
・移動,確認,記録：35分/回

導入後

50時間/月

【巡視条件】
・夜勤スタッフ**2**名体制（うち**1**名が巡視）
・2時間ごとに全室巡視×**2**回
・移動,確認,記録：**25**分/回

▲90時間/月

削減65%

本来の介護業務に充てる事が可能

月間0.5人月分の稼働時間確保

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

その他効果イメージ例

入居者の安眠・安全性の向上

巡視による覚醒が減り、安心して眠れる環境を実現。

呼吸や離床を検知し、転倒リスクや無呼吸の早期発見へ。

職員の負担軽減・業務効率化

見守り負担が軽減し、記録や介助など本来業務に集中。

システム化により「感覚的な判断」から「データに基づくケア」へ移行。

ケアの質と家族満足度の向上

データで個別ケアや生活リズムの調整が可能。

客観的なデータを示すことで安心感を提供。

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

参考：生産性向上推進体制加算とは

IoTBank

背景	高齢化社会の進展に伴い、介護職員の不足が深刻化し、介護現場での効率化が急務
加算の目的	生産性向上を促進し、限られた人材で効率的な業務を遂行推進 職員の負担軽減や業務効率化を図り、離職率低下を目的とする。
開始日	2024年4月～施行（特養・老健・介護付き有料・グループホームなど） ※通所施設や訪問介護施設は対象外

加算Ⅰ **100単位/月**	1.加算Ⅱの要件をすべて満たし、成果が確認された場合。 **2.見守り機器等の３つのカテゴリーを導入**していること。 3.職員間の適切な役割分担の取り組みを行っていること。	**見守り機器等** **・見守り機器** **・インカム等** **・介護記録ソフト等**
加算Ⅱ **10単位/月**	1.加算Ⅱの要件検討するための委員会やを講じること。 2.生産性向上ガイドラインを継続的に行っていること。 **3.見守り機器等の１つ以上導入**していること。 4.1年以内ごとに1回、効果検証データの提供を行うこと。	

※1単位≒10円。100単位は1利用者あたり約1,000円/月の介護加算

厚生労働省：令和6年度介護報酬改定 生産性向上推進体制加算について

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

参考：生産性向上推進体制加算の見守り機器等とは

IoTBank

見守り機器		ベッドセンサー AIカメラ 等	**利用者がベッドから離れようとしている状態又は離れたことを感知できるセンサー**であり、 当該センサーから得られた情報を外部通信機能により職員に通報できる 利用者の見守りに資する機器。 加算（Ⅰ）の場合、すべての居室への導入（注）が必要。 加算（Ⅱ）の場合は、１つの居室への導入でも算定可能。 （注）利用者又は家族の意向に応じ、機器の使用を停止する運用は可能。
インカム等		骨伝導インカム LINE WORKS 等	インカム（マイクロホンが取り付けられたイヤホンをいう。）や ビジネス用のチャットツールの活用による職員間の連絡調整の 迅速化に資するＩＣＴ機器 加算（Ⅰ）及び加算（Ⅱ）ともに、同一の時間帯に勤務する全ての介護職員の使用が必要。
介護記録ソフト等		ほのぼの ケアカルテ ワイズマン 等	介護記録ソフトウェア等の介護記録の作成の効率化に資するＩＣＴ機器 （複数の機器の連携も含め、データの入力から記録・保存・活用までを 一体的に支援するものに限る。）

厚生労働省：令和6年度介護報酬改定 生産性向上推進体制加算について

Copyright © 2025 IoTBank Co,. Ltd.

IoTBank

IoTの総合メーカー

商号	株式会社IoTBank
代表	代表取締役社長　曲 亮
事業内容	通信デバイスの開発、製造、販売（OEM含む） システムの開発、製造、販売、（OEM含む）
資本金	2億3,000万円
設立	2019年4月
拠点	東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー28F
Webサイト	https://iotbank.co.jp/

～IoTの力で人々を笑顔に～

IoTBank

お問い合わせ

https://iotbank.co.jp/litcare/contact/